

① 広報のほりこ

新春を迎えて

明るい希望と期待のもてる 郷土建設に努力

町民のみなさま、明けましておめでとございませす。

みなさまと共に、すがすがしい昭和四十四年の新春をお祝いできますことを、心からうれしく存じます。

かえりみますに

昨年、開町百年の意義ある年を迎え、幾多の先人が、風雪に耐えてこの郷土を築きあげた労苦を偲び、さらに輝かしい未来の創造に向けて、全町民と共に一層の

決意を新たにしたのであります。今年、二世紀への第一歩として、限りなく発展するわが郷土の未来に思いを馳せますと、新たな感激を覚えすにはいられません。わたくしは、町長に就任して以来、町民のみなさまにお約束してきましたことは、住民の意志を尊重した、明るく住みよい大登別の都市建設という目標の達成であります。

登別町はいま、人口四万四千、全国でも稀にみる躍進を続けておりますが、それだけに福祉増進のための懸案事業が山積してあります。



町長 高田 忠雄

す。これらを着実に、しかも早急に達成するためにも、わたくしの残された任期間を、全力をもって推進する決意であります。町民のみなさまにおかれましても、わたくしのこの決意のほどをご理解くださいまして、一層のご協力を願ってやみません。いまや登別町は、市制の実現も明るい見通しとなっており、理想都市の実現は、近い将来かならず

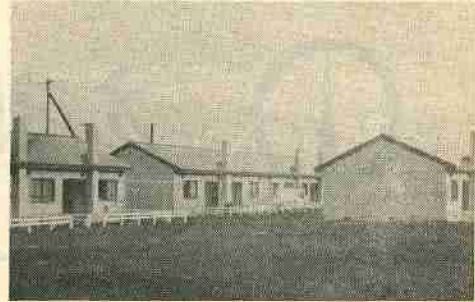
町民の皆さんに読んで下さることを願って申し上げます

登別町

- 町長 高田 忠雄
- 助役 田村仙一郎
- 収入役 八十嶋武雄
- 総務部長 山下 文雄
- 民生部長 大笹 繁
- 開発部長 中浜元三郎
- 議長 南 邦夫
- 副議長 河野 敏文
- 消防長 小野寺 勇
- 消防団長 秋吉 勇雄
- 教育委員長 中川原 豊
- 委員 須藤 善作
- 委員 室 久吉
- 委員 渡谷大一郎
- 委員 三浦 守治
- 委員 三好 秀一
- 委員 玉川英三郎
- 委員 深瀬 泰一
- 委員 柳沼 高彬
- 委員 井上 晴夫

期待できるものと確信いたすとともに、わたくしも町民のみなさまと共に明るい希望と期待のもてる郷土建設のため、最大の努力を尽しこの重責を全うしてまいりたいと存じます。今年も昨年に倍して、平和で豊かな年であり、そして、全町民が健康で幸福でありますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

のまちづくり



▶ 公営住宅新築工事
 工費 二、七五四万円
 竣工 四十三年十一月三十日
 (一種十二戸、二種二十戸)



▶ 公園新設工事
 総工費 六三三万円
 中央公園外三ヶ所



▶ 鷺別小学校増築工事
 竣工 四十三年十一月三十日
 工費 二、五六〇万円



▶ 鷺別消防分遣所
 建築工事
 竣工 四十三年三月十一日
 工費 一、一五〇万円



▶ 富浦生活館新築工事
 工費 五六〇万円
 竣工 四十三年十月三十日

社会生活基盤の向上

町政懇談会を通じ住民の意志を反映した、きめのこまかい施策を積極的に推進するため、住宅難の緩和、学校教育の充実と向上、生活環境の増進、消防と交通安全施設の充実など、住民の一人一人が恵まれた環境のもとに、希望に満ちた生活が営むことができるよう事業を進めてきました。

施設別にみると次のとおりです。

総事業費 二〇一、〇四〇千円	交通安全施設	2,966千円
	教育施設	57,750千円
	生活環境施設	2,076千円
	住宅対策施設	41,974千円
	福祉施設	25,512千円
	消防施設	29,825千円
	公園施設	6,340千円
	水道施設	7,256千円
	その他	28,341千円



◀排水工事
富岸勤労者住宅第二工区
外二十五ヶ所
工費 三、七六〇万円



◀札内地区飲雑用水
取水堤工事(二期分)
竣工 四十三年十一月二十二日
工費 九〇二万円



◀上鷺別、川上間路線
農道整備事業工事(二期分)
竣工 四十三年十一月二十日
工費 一、〇九二万円

43年登別町



▲舗装工事 中央通外2ヶ所 総工費 1,743万円

▼災害復旧工事 富岸川災害復旧 外26ヶ所
総工費 4,127万円



産業基盤の確立

時代の社会さう勢に即応した施策を積極的に推進するため、諸産業の振興基盤となる道路、橋梁、排水の整備、災害復旧など、「魅力ある登別、活気に満ちた登別」をつくるため数々の事業を進めてきました。

施設別にみると次のとおりです。

総事業費 一六七、五八九千円	道路施設	25,166千円
	排水施設	37,608千円
	橋梁施設	30,643千円
	河川施設	10,600千円
	観光施設	6,447千円
	農業施設	57,125千円

成人式のご案内

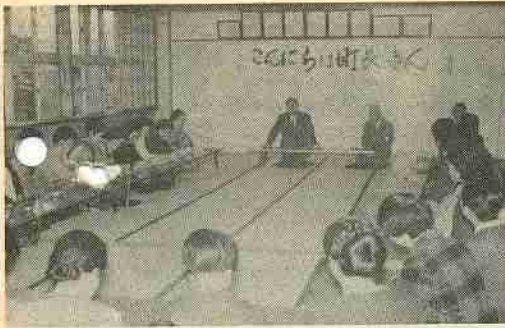
一月十五日の「成人式」に新たに成人になる方は、九百七十九人(男四百七十九人、女五百人)ですが、町では、該当されるみなさんをお招きして、新しい門出をお祝いするため成人式と成人祭を次によりおこないます。成人の方は全員出席されますようご案内します。

日時 昭和四十四年一月十五日
 十時より受付
 ・十時三十分より 成人式
 ・十二時三十分より 成人祭
 (デイスカッション)
 場所 中央公民館

連絡事項
 △バス運行について
 ◎温泉支所前(九時二十分)
 一 登別支所前(九時三十分)
 一 富浦バス停前(九時四十分)
 ◎ 登別支所前(九時三十分)
 一 帝国酸素前(九時四十分)

〆こんにちは町長さん〆

町婦人団体連絡協議会(会長高田武子さん)では、町長と住民の理解を深めるため、十二月十日午前十時より中央公民館においてこんにちは町長さん(町長を囲む会



がおこなわれました。この日は、町内十二婦人会から約六十名が出席し、四万四千人を有する町の首長に対して、婦人会活動を通じ街づくり全般について聞いてもらおうという、気楽な語りあう会が進められました。まず先に、高田町長から婦人のこれからの役割と町政(市制実現の活動状況)について話があったて対話に入りました。この対話では、日ごろから豊か街づくりを意欲をもやしている婦人会だけに、町政に対する道路、文教、交通安全、環境衛生など時間のたつのを忘れ、活発に対話がかわされました。最後に、町長と住民が一体となって、住みよい真の平和な街づくりに努力しようとして、午後三時、有意義な「べを囲む会」をおえました。

業績をたたえ

中牧氏の藍綬褒章受章祝賀会

道路づくりを促進し、地方産業の振興と地域社会の公益に貢献した功績で十月、藍綬褒章を受章した中牧保氏(登別温泉)の受章祝賀会が、十二月七日午後一時から登別グランドホテルのホールに、約百人が出席して盛大におこなわれました。

この日は、主催者側を代表して南観光協会会長から同氏の業績をたたえる式辞と高田町長から「健康にじゅうぶん留意されて今後とも登別町の発展のため旧に倍してお力そえをいただきたい」と祝辞がのべられました。

これに対して、中牧さんから、「この名誉を誇りとして、今後とも登別町発展のためつくしていきたい」と謝辞がのべられ、輝かしい受章の祝賀にふさわしいひとときが繰りひろげられました。

交通安全作品

コンクール入賞者

交通事故防止と交通安全思想の普及を図るため、児童生徒を対象に標語、作文、ポスターを募集したところ多くの応募がありました。厳正な審査をした結果、次の作品が入賞され、中央公民館二階ホールで表彰式がおこなわれ表彰状と記念品が贈られました。

- ポスターの部
 △特選 平美哉子(温泉小六年)
 △入選 新免融(幌別小六年)、小池和夫(幌別小三年)
 本安潤子(幌別小五年)
- △佳作 長崎準一、林とし子(温泉小六年)、佐藤淑子、土谷早百合(幌別小五年)、中村和彦(幌別小三年)
- 標語の部
 △特選 坂井祥子(温泉小五年)
- △入選 五十元子、菊地一俊(幌別小五年)、高橋和子(温泉小六年)
- △佳作 南恵介、林由

選挙人名簿の

登録申請を早く

農業委員会委員の選挙人名簿が今年もみなさんの申請により、一月一日現在でつくられます。この名簿は、登別町農業委員の選挙に用いられますが、登録されませんと投票できませんので、次に該当する方は期間内に必ず申請しましょう。

申請用紙は役場農業委員会、役場各支所、農協、開協の窓口に備え付けてあります。
 申請すべき人(有権者)
 昭和二十四年四月一日までに生まれ、次のいずれかに該当する方
 ・三十アール以上の農地について耕作の業務を営む者
 ・右の者の家に同居している親族、または配偶者(但し年間おむね六十日以上耕作に従事している者)
 ・三十アール以上の農地について耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員
 申請期日
 昭和四十四年一月四日から一月十日まで

子、田村栄子(温泉小五年)、浜田次明、高橋和子(温泉小六年)

作文の部
 △特選 水戸康博(温泉小五年)

△入選 関藤貴工(幌別小五年)

△佳作 森由紀子(幌別小五年)、亀岡真理(温泉小三年)